



小浦 宏 医師
(吉備医師会から)

関節リウマチは、体のあちこちの関節に炎症が起こり、軟骨や骨が破壊されて関節が変形し、機能が損なわれていく病気です。昔から関節リウマチは不治の病として恐れられてきましたが、最近では抗リウマチ薬や生物学的製剤が開発されて、寛解（関節の炎症がない状態を続けること）の状態にすることができるよう

今月のテーマ
関節リウマチ

早期発見、早期治療が大切です

になりました。しかし、関節の破壊は、発症早期から始まるということが分かってきました。そのため、早期発見、早期治療が大切です。3週間以上続く関節の腫脹と痛みや朝に関節のこわばりがあるときは、リウマチの専門医を受診しましょう。症状、血液検査、X線検査などから総合的に関節リウマチと診断されたら、早期に抗リウマチ薬を開始した方が良いとされています。服薬するとなると、薬の副作用が気になると思いますが、注意しながら上手に薬を利用しましょう。そのためには、定期的

に検査を受けることと、かかりつけの処方薬局をもつことが大切です。リウマチの患者は、どうしても薬の量が増えるので他の病気で処方された薬でも、かかりつけの処方薬局で重複や相互作用をチェックしてもらいましょう。病院の受診は、今後の医療制度や副作用への対応を考えると、リウマチ専門の医療機関を年に1、2度受診して、治療方針の決定と重症化したときの治療をしてもらい、日頃は近くの診療所で診察と投薬を受けるのが良いでしょう。

安全・安心
総社署からのすすめ

留守宅や深夜家人が就寝中に泥棒に入られる空き巣・忍び込み被害が増加しています。泥棒は鍵の掛かっている窓や扉があるなど防犯対策が行き届いていない家を狙う傾向にあります。しっかり鍵を掛け、すきをなくして泥棒を撃退しましょう。
■鍵掛け
プロの泥棒にかかれば鍵掛けは意味がないと思いません

空き巣・忍び込みに注意!

か。鍵を掛けていれば、泥棒は、開けるために不自然な姿をさらすこととなります。精巧な鍵ほど開けるまでの時間が長くなることから、侵入を諦めることが多いと言われています。
■泥棒の侵入場所
泥棒が侵入する場所は、家の裏窓や勝手口など無締まりや施錠忘れの場所からです。玄関だけでなく、窓や勝手口など全ての鍵を完全に掛けることが重要です。出かける前や就寝前には必ず鍵を掛け、確認しましょう。
■泥棒が敬遠する家
泥棒が忍び込むのを敬遠する家として、次のようなものがある

- ・窓を二重ガラスにするなど防犯性の高い家
 - ・勝手口や室内の照明が点灯（まめ球程度の明かり）している家
 - ・センサーライトを設置しているなど防犯対策がなされている家
 - ・ブロックや植え込みなどでの死角が少ない家
 - ・犬を飼っている家
- 被害の早期届出
泥棒に入られたときには、夜間であっても直ちに警察へ届出をしてください。特に、犯人を見かけたときには、早急な届出をお願いします。

監修・問い合わせ 総社警察署 (☎94-0110)

狩谷遺跡から多種多彩な装身具が出土

県内初の玉類や銅釧など、全国でもまれに見る豊富な種類の出土品

問い合わせ 文化課文化財係 (☎83363)



多くの装身具が出土した1号墓。写真奥側が頭部、手前が脚部と考えられる



▲頭部から胸部の位置。胸飾りのような装身具であった可能性が高い。▶左腕の辺りの位置に出土した銅釧



総社市山田の低丘陵上に立地する狩谷遺跡は、弥生時代に集落を築くために大きく削られ、4軒の住居跡と多数の柱穴が発見されています。弥生時代以後、5世紀から6世紀にかけては墓域となり、5基の土壙墓が検出されています。

このうちの1基から鉄製の鍬鋤先のほか、多種多彩な玉類や銅釧（青銅製の腕輪）などの装身具が、装着状況が推測できる状態で出土しました。この土壙墓は出土した玉類からみて5世紀末から6世紀初頭に造られたものと考えられます。

出土した玉類は、滑石製の白玉を主体に、ガラス製の瑠璃・黄・淡青色の小玉・緑色の勾玉、メノウ製の小玉・管玉、緑色の凝灰岩製の管玉、白色の勾玉、青銅製の空玉などさまざまな種類、材質、色調の玉がみられ、このようなバラエティーに富んだ玉類の出土例は全国的にも極めてまれです。

また、メノウ製の管玉は鮮やかな赤色の発色をしており、国内でも出土例は非常に少ないものです。空玉も青銅製品としては県下初の出土。これらの玉類の多くは、胸飾りとして使用されたものと推定されます。

銅釧は、古墳時代のものとしては県下初出土。ガラス製の小玉とともに腕に装着されていたものと想定されます。

なお、周辺からは初期須恵器の破片が出土。また、空玉はすべて朝鮮半島製と考える研究者もいることから、被葬者が朝鮮半島と関わりがあることも推測されます。

同遺跡は、平成14年にほ場整備事業にともなう調査によって発見。今年の7月からは土取り工事に伴って発掘調査に入り、土壙墓と弥生時代の集落を確認しました。